

[生涯学習]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R2 年度計画額（単位：千円）		R2 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	774	290	0.4	0.2
2	生涯学習活動推進事業	B	17,862	308	0.4	0.1
3	生涯学習講座事業	B	1,323	130	0.7	0.2
4	中央公民館管理事業	B	51,594	3,961	0.7	0.1
5	町民会館管理事業	B	24,906	2,613	0.7	0.1
6	社会体育振興事業	B	10,217	360	0.7	0.1
7	温水プール管理事業	B	50,296	122	0.4	0.1
8	グラウンド等管理事業	B	95,685	21,256	0.7	0.1
9	野外活動施設管理事業	B	4,770	15	0.3	0
10	文化財保護事業	B	3,284	30	0.5	0.5
11	歴史民俗資料館運営事業	B	13,746	40	0.5	1
12	歴史文化教育事業	B	0	0	1	0.5
合 計			274,457	29,125	7.0	3.0

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。 		
現在における経過又は課題	<p>昨今の社会構造の変化に伴う子育て家庭の孤立等の要因により、家庭内での問題が取り上げられている。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>今後の課題点として、講座や体験教室に同じ受講者が参加することが多く、それ自体は内容を評価していただいているものと認識しているが、きっかけづくりとして新たな参加者、特に父子での参加を増やす方策が必要と考えている。</p> <p>また、青少年問題協議会の会議を年1回開催し、江南警察署管内の青少年の犯罪状況や、愛知県青少年保護条例による様々な取り組みやイベントなどの啓発をしている。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供など、より一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら、更なるニーズの発掘や新規親子講座の検討を行う。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査 青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R1 目標	R2 目標	R3 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	・ ・
R4 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	381	971	774
(内特定財源)		千円		290	290
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0.2
	計	人工	0.6	0.6	0.6

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
21-3-4-8-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
21-3-4-8-3-1 家庭教育活動参加者負担金	270	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	290	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期家庭教育講座の受付及び事業展開

・親子自然教室

竹で、たけのこご飯！

親子で竹パン教室

・理科おもしろ実験講座

流れる空気 高ーく、長ーく飛ぶ紙飛行機をつくろう！

動物の体のつくり 身近な生き物を観察しよう！

作用と反作用 ペットボトルロケットをつくろう！

・夏休み親子料理教室

・日間賀島親子自然体験教室

→上記講座を企画したが、新型コロナウイルス感染予防のためすべて中止とした。

●後期家庭教育講座の受付及び事業展開

→新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

●ふれあいまつり2020

→例年各学校のPTAと協働委託契約をして参加していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、ふれあいまつり自体が中止となった。

●青少年問題協議会

→書面会議にて開催。例年行っている町内商業施設での巡回パトロールは新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

■評価

例年実施していた事業が、新型コロナウイルス感染予防のため中止せざるを得ない状況となった。この新型コロナウイルスによる社会状況の変化は、家庭教育の在り方についても影響を及ぼしている。

今後も町NPO登録団体や小中学校PTAとの連携を図り、変化していく状況の中で実施可能な事業を模索し、実施していくことが必要である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 ・少年少女発明クラブ 		
現在における経過又は課題	<p>生涯学習活動については、大口町生涯学習基本構想に基づいて学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながら互いの教育力を補完して学習活動を推進しており、行政においてもその一助となれるよう、様々な事業を展開している。</p> <p>文化協会については、それぞれのクラブにおいて積極的に活動されており、今後は協会の自立を促していくことが課題となっている。</p> <p>学校支援地域本部事業については、安定した運営を引き続き継続していけるよう、体制を維持していくことが必要である。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう、学校地域支援本部の継続と情報発信、ボランティアの確保などを引き続き図っていく。</p> <p>文化協会の運営については、平成29年度から引き続き文化協会の事務運営全般をまちネットへ委託し、その内容を検証しながら今後の文化協会の自主運営の体制を整えていく。</p> <p>少年少女発明クラブについては、引き続き体制の支援を図っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 生涯学習のまちづくり事業委託契約
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目標						
項目（単位）	H30計画	H30実績	H31計画	R2目標	R3目標	R4目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	・ ・
R4年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	13,378	18,737	17,862
(内特定財源)		千円		308	308
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.5

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-3-4-1 特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
19-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	200	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	308	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

●芸能文化事業

ほほえみコンサート

大口なんでもマラソンコンサート

→新型コロナ感染予防のため中止とした。

●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 201人参加

●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて20団体、209人

→20団体中3団体が新型コロナ感染予防ため活動休止

事業実績（作品展・教室・発表会・慰問） 25事業

●リフレッシュリゾート施設利用助成

助成額 1,055,000円

（日間賀島118件 昼神温泉156件 共済17件 松江39件 FDA利用26件）

●学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 83人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延222日 399人

・大口南小学校 延42日 381人

・大口北小学校 延74日 184人

・大口西小学校 延35日 187人

■評価

芸能文化事業について、新型コロナ感染予防のため、すべての事業を中止した。文化協会においても新型コロナ感染予防のため活動が限定され、20団体中3団体が活動休止している状態である。

学校支援地域本部事業については、新型コロナ感染予防のため活動時期が限定される中、感染予防対策を徹底しながら事業を実施した。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていけるよう支援を継続していく。

成人の集いについては、新型コロナ感染予防対策として、換気性の面から町民会館ではなく中央公民館集会室にて実施した。換気のため窓や扉を開放、密にならないよう席の間隔をとる、マスク着用を徹底するなど、対策を徹底して行った。

リフレッシュリゾート事業については、新型コロナ感染症のため利用者が減少しており、この為、制度改正後の検証は次年度となった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	3
事業名	生涯学習講座事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。		<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	<p>前期・後期に分けて様々な講座を企画している中で、講座による参加者の数にばらつきが発生している点は否めない。しかしながら、行政における講座開催の役割としてはきっかけづくりが主なものであるため、参加者数にとられない様々な講座の紹介としての役割を担えればと考えている。</p> <p>また、おおぐち歴史ガイドについては、会員自ら講師となり生涯学習講座を開催。自らの歴史知識を活かしつつ、新たな会員も加入する等、着々と組織化に向け進展している。</p>			
令和2年度の目標又は改善策	<p>講座開催時のアンケート調査で得た情報を基に、住民ニーズを把握し、新たな講座等を企画していく。講座を企画するうえでは、参加人数の多寡にとられず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとしての役割を担えるような考え方でこなう。</p> <p>また、歴史民俗資料館と協力し、町の歴史文化活動の一翼として、今後もおおぐち歴史ガイドの自主独立に向け支援していく。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H29 計画	H29 実績	H30 計画	H31 目標	H32 目標	H33 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H32 年度	.
	.
H33 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	1,013	1,323	1,323
(内特定財源)		千円		130	130
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0.2
	計	人工	0.9	0.9	0.9

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
21-3-4-8-2-1 社会教育講座受講料	130	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合 計	130	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期講座

「管理栄養士の料理教室」

「手書きのあたたかさ たのしい絵手紙」

「マジック教室」

「初心者盆栽教室」

「姿勢教室」

「気象学入門」

→新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

●後期講座

→新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

●高齢者教室～さくら大学～

→新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

■評価

生涯学習講座事業については、令和2年度に実施する予定であった全てを新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。今後は感染状況を注視しながら、その中でも実施できる講座を模索していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	4
事業名	中央公民館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	<p>平成 26 年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。特に配管設備や電気設備について、急な不具合が発生する事案が度々あり、その都度修繕対応が必要である。</p> <p>混雑時に駐車場が不足するケースが度々あり、駐車場の拡幅等を検討していく必要がある。また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。</p>			
令和 2 年度の目標又は改善策	<p>随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。</p> <p>駐車場不足の件については、中央公民館北側の総合運動場駐車場に隣接するゲートボール場の一部を駐車場へ改修し、駐車台数を増台する予定である。（予算についてはグラウンド等管理事業に計上する）</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	.
R4 年度	.

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	46,739	59,939	51,594
(内特定財源)		千円		3,761	3,961
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-3-1-1 行政財産目的外使用料	96	10-5-2 3 中央公民館管理事業
14-1-9-3-2-1 中央公民館使用料	3,500	10-5-2 3 中央公民館管理事業
21-3-4-8-5-1 施設利用負担金	365	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,961	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 (01) 10-1-1 消耗品費	350	△550	H31 年度に小体育室用の畳を購入したため
10-5-2 (01) 14-1-2 中央公民館窓枠修繕工事	0	△9,856	工事の完了に伴う減額
10-5-2 (01) 14-1-3 中央公民館視聴覚室改修工事	0	△1,708	工事の完了に伴う減額

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

2月 3階ドア金具修繕 20,020円
3月 張りコンクリート陥没修繕 115,500円
3月 外灯修繕 867,900円

工事

なし

その他

年度当初から新型コロナ感染予防のため、施設の閉鎖及び利用制限などを実施

■評価

施設及び設備の老朽化に伴う不具合、故障について、その都度修繕を行った。外灯修繕においては、従来の水銀灯からLEDへ改修することにより、経済面についても効果が期待できる。

その他、施設の運用面について、新型コロナ感染予防のため、国の発出する緊急事態宣言などの状況をみながら、施設の閉鎖や利用制限などを実施していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	5						
事業名	町民会館管理事業								
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する						
	基本施策	1	生涯学習の推進						
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。								
事務内容	<table border="0"><tr><td>・ 施設の利用者対応</td><td>・ 支払処理</td></tr><tr><td>・ 設備の維持管理</td><td>・ 消耗品等の補充</td></tr><tr><td>※外注分は協議・契約・履行確認</td><td>・ 除草等清掃作業</td></tr></table>			・ 施設の利用者対応	・ 支払処理	・ 設備の維持管理	・ 消耗品等の補充	※外注分は協議・契約・履行確認	・ 除草等清掃作業
・ 施設の利用者対応	・ 支払処理								
・ 設備の維持管理	・ 消耗品等の補充								
※外注分は協議・契約・履行確認	・ 除草等清掃作業								
現在における経過又は課題	開館からすでに 20 年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成 30 年度に大規模改修工事を行った。								
令和 2 年度の目標又は改善策	施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合は都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。 2 階ホールの舞台吊り物設備においては、重量物を吊り下げているワイヤーの耐用年数が点検で指摘されているため、改修工事を予定している。								

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	.
R4 年度	.

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	305,421	19,525	24,906
(内特定財源)		千円		2,583	2,613
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-3-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
14-1-9-3-3-1 町民会館使用料	2,000	10-5-2 4 町民会館管理事業
21-3-4-8-5-2 施設利用負担金	612	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	2,613	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 (04) 14-1-2 舞台吊り物装置改修工事	6,006	6,006	2階ホール舞台吊り物装置のうち、重量物を吊り下げているウィンチの老朽化に伴う改修工事

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

- 9月 移動椅子部品交換修繕 157,850円
- 9月 漏水修繕 693,000円
- 10月 キュービクル電圧計取替修繕 33,000円
- 11月 トイレピストンバルブ修繕 16,610円

工事

- 11月 舞台吊り物改修工事 4,607,900円

その他

年度当初から新型コロナ感染予防のため、施設の閉鎖及び利用制限などを実施

■評価

工事について、今年度は前年度の検査でワイヤーの経年劣化等を指摘されていた舞台吊り物改修工事を実施した。修繕については、雨水排水管の漏水から1階部分が水に浸る状況が発生したため、外壁への露出排水管とする修繕工事を実施した。

その他、施設の運用面について、新型コロナ感染予防のため、国の発出する緊急事態宣言などの状況をみながら、施設の閉鎖や利用制限などを実施した。特に2階ホールについては、換気の難しさや多人数での利用という性質から、年度中の利用を中止した。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における経過又は課題	<p>様々な世代に対して、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。</p> <p>子ども向けの事業については、統合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブと連携しながら、引き続き事業を継続していく。</p> <p>団体支援については、団体のみが参加する活動だけではなく、地域の人たちも参加できる形での地域貢献の場を設けていく必要がある。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>特に普段仕事や子育て等でなかなかスポーツに触れ合う機会の少ない30～40歳の世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員を中心にプロジェクトを組織し、様々な観点から種目を選定して計画していく。子ども向けの事業については、引き続きウィル大口スポーツクラブと連携を密にしながら、事業を進めていく。</p> <p>体育協会、スポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催 登山教室
12	愛知駅伝参加
2	スノーシュー教室
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H30計画	H30実績	H31計画	R2目標	R3目標	R4目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
R4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	9,860	10,765	10,217
(内特定財源)		千円		363	360
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-4-3-1 学校開放施設使用料	340	10-6-1 3 社会体育振興事業
19-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	6	10-6-1 3 社会体育振興事業
21-3-4-8-4-1 スポーツ教室受講料	14	10-6-1 3 社会体育振興事業
合 計	360	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

●講座・教室

登山教室

スポーツ教室

スノーシュー教室

→新型コロナ感染予防のため中止とした。

●スポーツ推進委員活動

定例委員会会議（スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

→新型コロナ感染予防のため、年度の当初は開催ができなかった。最終的に年4回開催した。

●スポーツ大会

地区別ソフトボール大会

町民体育祭

愛知県市町村対抗駅伝競走大会

桜並木健康ジョギング

→新型コロナ感染予防のため中止とした。

●体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（10団体）

スポーツ少年団（5団体）※1団体休団中

■評価

新型コロナ感染予防のため、スポーツ講座や教室などを中止とした。また、町民体育祭など各大会も中止とした。スポーツ推進委員の活動についても、開催自体ができない時期もあり、事業が制限される中でできることを模索した1年であった。

体育協会については、各協会の中でコロナ対策を十分におこないながらそれぞれの活動を行った。

今後は、新型コロナ感染予防対策を徹底しながら、新たな事業を展開していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	7
事業名	温水プール管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。 	
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営は平成 22 年度から指定管理者に委ねられており、引き続き令和 2 年度から令和 6 年度まで 5 年間の指定管理協定を結ぶ予定である。</p> <p>施設自体は、開館からすでに 30 年以上が経過しており、随時修繕等を実施していく必要がある。</p>			
令和 2 年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ、大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	51,364	49,945	50,296
(内特定財源)		千円		122	122
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.5

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	122	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	122	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

1月 温水プールガラリ修繕 1, 160, 500円

その他

指定管理者休業補償 4～5月分 15, 371, 000円

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施

■評価

今年度は、年度当初から新型コロナ感染予防対策のため施設の閉鎖を実施し、各スポーツ施設も5月末まで利用禁止とした。これにより、スポーツ施設の指定管理者であるウィル大口スポーツクラブの収入が途絶えてしまうことから、対象の期間について休業補償を実施した。施設の再開以降もウィル大口とは連携を密にし、それぞれの施設で密にならないよう新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

また、施設の不具合箇所について情報を共有する中で、プールガラリ部分が老朽化により支障があったため、町の補正予算対応にて修繕を行った。今後も突発的な事項においては、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと連携を密にとり、施設保有者として対応していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	8
事業名	グラウンド等管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。			
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払		・ 工事施工	
現在における経過又は課題	<p>平成 27 年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。(平成 27 年度追加施設：野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場)</p> <p>引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>			
令和 2 年度の目標又は改善策	<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>わかしゃち国体記念運動公園について、利便性を高めるため、スポーツ振興くじ助成金を活用し、照明設備の新設工事を行う。</p> <p>中央公民館利用者等の駐車場を確保するため、総合運動場駐車場に隣接しているゲートボール場の一部を駐車場へ拡幅する工事を行う。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結</p> <p>随 改修工事</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 						
	項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	65,244	55,564	95,685
(内特定財源)		千円		1,256	21,256
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	656	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
21-3-4-8-6-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
21-3-4-8-16-1 スポーツ振興くじ助成金	20,000	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	21,256	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 (04) 12-5-2 総合運動場テニスコート照明改修工事設計	0	△313	工事完了により減額
10-6-2 (02) 14-1-4 総合運動場テニスコート照明改修工事費	0	△12,803	工事完了により減額
10-6-2 (04) 14-1-7 総合運動場駐車場拡幅工事費	15,992	15,992	総合運動場駐車場を一部拡幅する
10-6-2 (04) 14-1-8 わかしゃち国体記念運動公園照明設備新設工事費	36,409	36,409	わかしゃち国体記念運動公園に照明設備を新設する

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

設計委託

6月 わかしやち国体記念運動公園照明設備新設工事設計委託 700,700円

工事

7月～1月 わかしやち国体記念運動公園照明設備新設工事 27,018,750円

9月～2月 総合運動場駐車場拡幅工事

備品

9月 自動体外式除細動器（AED） 264,000円

■評価

わかしやち国体記念運動公園照明設備新設工事について、スポーツ振興くじ助成金交付の申請をし、当初の予定どおり実施設計と施工を実施した。今まで照明設備がなかったグラウンドに照明設備を新設したことで夜間の利用が可能になり、利用者の利便性に寄与することが見込まれる。

総合運動場拡幅工事については、2面あったゲートボール場の1面とコンクリートブロックの植栽部分を舗装することにより、駐車台数を96台から120台へ増台した。また、一部分を緑化駐車場として整備することにより、環境への対策を啓発した。

施設の運用については、年度当初から新型コロナ感染予防対策のため施設の閉鎖を実施し、各スポーツ施設も5月末まで利用禁止とした。施設の再開以降もウィル大口とは連携を密にし、それぞれの施設で密にならないよう新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課		No.	9
事業名	野外活動施設管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 	
現在における経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、運用を図っていく必要がある。</p>			
令和2年度の目標又は改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。修繕不可能な遊具については使用禁止または撤去などの措置を行っていく。また、地元地域からの要望等については、早期に現状を確認し、対応を図っていく。</p> <p>今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	H31 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	4,425	4,770	4,770
(内特定財源)		千円		15	15
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.3	0.3	0.3

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-1-9-4-2-1 野外活動施設使用料	15	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合計		

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

4月	遊具等撤去修繕	88,000円
6月	排水溝等修繕	42,900円
12月	階段等修繕	159,500円
1月	外灯修繕	149,270円

工事

2月	会議室空調設備取替工事	1,251,800円
----	-------------	------------

その他

12月	樹木剪定業務	50,600円
-----	--------	---------

地元の有志団体であるふれあいの森クラブに、鍵開け等の日常管理を委託
年1回アスレチック遊具の安全点検

■評価

ふれあいの森においては、随時突発的な故障・不具合が発生し、その都度、速やかに修繕を実施した。
日常管理を委託しているふれあいの森クラブにおいては、適切に清掃・開錠施錠を実施しており、今
後も地元の有志団体として随意契約としていく方向である。

管理棟2階の会議室において、空調機器が老朽化により使用できなかつたため、補正予算にて取替工
事を実施した。

定期点検において、アスレチック遊具等の一部が撤去推奨の判定を受けており、撤去修繕により施設
の安全性を確保した。今後も定期点検の結果を鑑み、適宜修繕及び撤去を実施し、安全に利用できる環
境整備に努めていく。今後は、施設の維持管理方法や利用形態に際し、遊具等の残存状況を勘案しなが
ら、施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

事業別行政経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	10
事業名	文化財保護事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存に努め、積極的に活用することにより、次世代へ継承する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財の保存と活用 ・ 新規に指定可能な文化財の調査 ・ 町の歴史に係る調査及び研究 ・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能の継承と普及 ・ ・ ・ 		
現在における経過又は課題	<p>町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある郷土の歴史を考える上で貴重な文化遺産について調査を継続し、それらを保存及び活用することにより、町民への理解を深め、保護する意識の醸成を図る。</p> <p>各地区の伝統芸能について、近年後継者不足に悩まされているため、練習の成果を披露できる場及び次世代へ継承する事業を創出する。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>指定、未指定に関わらず、町内の文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に対し還元する。</p> <p>毎年4月及び10月に開催している伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している校区内の保存会と児童の交流事業を引き続き開催する。また、各地区保存会の活動状況を把握しながら、活動の継続に寄与する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	文化遺産の調査及び普及啓発活動 文化遺産に関するイベント及び講演会の検討。12月頃までに実施。 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。また、地域の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。
4	伝統芸能の保存及び継承
6	金助桜まつりでの伝統芸能披露
10	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の活動について検討。 伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30計画	H30実績	R1計画	R2目標	R3目標	R4目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	・ ・
R4年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	2,713	2,643	3,284
(内特定財源)		千円	17	30	30
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	1	1	1

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
町史、遺跡報告書売払	30	
合計	30	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-4-(3)-13-9-1 古文書複製	823	352	町内所在古文書に加え、町内寺院に関する史料を新たに確認し、これらを含めて複製及び整理をするため。

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る多様な文化遺産について、各種団体より情報提供を受けながら調査を進めた。残念ながら、町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説については、依頼を受けながらも新型コロナウイルスの感染状況により、全て中止となってしまった。

伝統芸能発表会は、春及び秋ともに中止となった。北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、昨年度までの方法に替え、過去に撮影した映像資料を用い、校区内の伝統芸能について授業を実施した。

■評価

文化遺産に係る講演会及び現地解説は、事前に様々な団体より依頼を受けながらも、相次ぐ中止によって実施することができなかった。次年度も不安定な情勢が続くと思われるため、調査は粛々を進めつつ、文化遺産の啓発方法について依頼を受けた際には、新しい生活様式に即した開催方法で実施していきたい。

伝統芸能についても、春及び秋の伝統芸能発表会が中止となり、北小学校の連携授業は映像資料を用いたため、披露する場を提供することができなかった。今後は会議の際、保存会活動の継続方法及びリスクを抑えた披露方法等を議論していきたい。そして、秋の伝統芸能発表会は、昨年度課題とした豊田地区の獅子屋形をステージ上で披露することと併せ、会場自体の変更も含め、地元である中小口区とともに検討を続けていく。

事業別行政経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	11
事業名	歴史民俗資料館運営事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	先人の培ってきた過去の営みを次世代へ伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を実施することにより、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出により、学校教育に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 4 回の企画展開催 ・ 常設展示室の管理 ・ 展示解説及びそれに係る調査研究 ・ 文化財収蔵庫の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵品管理及び活用 ・ 学校授業に係る見学受入れ ・ 博物館実習生の受入れ ・ 年報、展示図録等の発行 		
現在における経過又は課題	<p>年 4 回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。上記 2 本の企画展を中心に、町民が積極的に資料館を利用し、郷土の歴史や文化に触れる機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等に対し積極的に活用する機会を設ける。</p>		
令和 2 年度の目標又は改善策	<p>定例化した春及び冬の企画展は、来館者から直接いただいた意見及びアンケート等を分析し、来館者のニーズに合わせて運営を改善していく。夏及び秋の企画展は、郷土の歴史にまつわるテーマを中心に、町民の知的好奇心を刺激する内容にするこによって、資料館の利用を促進する。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年 1 回の施設開放及び月 1 回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を継続して実施し、学校教育及び福祉関係機関と連携を深める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（5月下旬まで）
6	中学生職場体験受入
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
8	博物館実習受入
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれいあまつりでの文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）
<p>毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出 小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し文化財収蔵庫の団体見学受入及び収蔵品貸出</p>	

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	11,206	14,228	13,746
(内特定財源)		千円	91	40	40
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	1	1	1
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
図録売払、広告収入	40	
合計	40	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
常設展示室改修委託料	1,870	△880	常設展示室内の一部スペース(体感広場)の展示物を改修するため

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

今年度は企画展ではなく、文化財収蔵庫の館蔵品をテーマ別に実施した。自粛期間後より明治時代の資料、小中学校に関する資料、農業をはじめ生産に関する資料、雛人形、土人形等の現在に至るまでの人形関係資料と、計4期にわたり開催した。

「オレンジカフェ・大口」は一時再開したものの再び中止となった。しかし、文化財収蔵庫の開放は11月7日、8日の2日間実施し、内部見学の機会を創出した。小学校3年生の授業「むかしのどうぐ」は、資料館及び文化財収蔵庫の見学に替え、学校へ館蔵品を持ち込み、出張授業という方法で進めた。

■評価

年度当初より自粛期間が続き、5月末まで閉館。6月以降は開館したが、企画展及び関連イベントも開催せず、館蔵品の展示を実施する等、昨年度とは大幅に変更した運営となった。次年度は新しい生活様式に則り、感染リスクを抑えた方法を鑑みた上で企画展を開催していきたい。

このような状況の中で、文化財収蔵庫の開放や学校へのお出張授業が無事実施でき、住民に対する普及活動ができた意義は大きい。特に学校は町内のみではなく、町外の小学校からも依頼があり、資料館がこれまで蓄積した連携授業のノウハウを活用することができた。

事業別行政経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	12
事業名	歴史文化教育事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	町内の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園との連携事業 ・ 小中学校における郷土学習 ・ 地域自治組織との連携事業 ・ 町内各種団体との連携事業 		
現在における経過又は課題	<p>各種団体から依頼を受け、講演及び現地解説を実施する中で、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している現状が挙げられる。</p> <p>このため、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も遺る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>各保育園及び各地域自治組織との連携事業、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖 堀尾吉晴公」に関する授業を今年度も継続して実施する。機会があれば様々な団体と積極的に連携し、本事業を幅広く展開する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習について、令和元年度より実施している休み時間を利用した講話をはじめ、授業内容について可能な支援を提案する等、積極的な連携に努める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北、西、南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間3園合計で12回程度） ・ 小学生対象に休み時間を利用した講話（各学校で年4回程度） ・ 小学校6年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（9月以降実施） ・ 中学校2年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（6月） ・ 中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」 ・ 南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 ・ 「おおぐち歴史ガイド」による生涯学習講座 <p>その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開。</p>

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30計画	H30実績	R1計画	R2目標	R3目標	R4目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	・ ・
R4年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1	1	1
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

各種団体との連携事業（特に講演会等のイベント関係）は当初計画されていたものが全て中止となった。保育園及び小中学校の再開後は、回数の制限及び実施方法の変更案等を両者で検討しつつ実施することができた。保育園は前年度と同じく全園で実施することができ（南保計4回、西保計2回、北保計4回）、各小中学校において「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめ各種授業の連携を進めることができた。各地域自治組織においては、中地域自治組織のアドバイザーの依頼をいただきつつ西小学校区の文化遺産マップ及び余野神社に関する冊子作成、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿を実施した。

■評価

年度当初は、この事業自体の推進が危ぶまれると想定しており、実際にイベント関係の連携事業は全て中止となってしまったが、地域自治組織と連携した啓発資料及び冊子の作成等は継続することができ、保育園や小中学校においても感染症防止対策を踏まえた方法で実施することができた。

小中学校では、今年度の代替案や新しい方法を両者で模索する中で、新しい授業内容との連携が生まれたことは次年度以降も活かしていきたい。逆に、事業が中止となってしまった団体については、継続の糸が切れたまま終わらないよう、事業の提案を続けていきたい。